

平成30年度  
事業実績報告書

申請者の概要

申 請 者	団体名	熊取町商工会		
	代表者職・氏名	会長 坂口 勝彦		
	所在地	〒590-0451 大阪府泉南郡熊取町野田2-9-20		
	担 当 者	職・氏名	事務局長 東 英彦	
		連絡先	電話番号（直通）：	072-453-8181
F a x：			072-453-8183	
	E - m a i l：	kumatori@silver.ocn.ne.jp		
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率）  ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと		昭和59年7月10日  5名（内経営指導員 4名）  熊取町  1,245（平成26年度経済センサス活動調査による） 916（平成26年度経済センサス活動調査による） 706(56%)（平成31年3月31日現在）		
□主な事業概要（定款記載事項等）				
①商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 ②商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 ③商工業に関する調査研究を行うこと。 ④商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 ⑤展示会、共進会を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 ⑥商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 ⑦商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 ⑧行政庁等諮問に応じて、答申すること。 ⑨社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 ⑩商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む。）を処理すること。 ⑪商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 ⑫行政庁から委託を受けて事業を行うこと。 ⑬外国人研修生の受入れに関する事業を行うこと。 ⑭前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事務を行うこと。				

**熊取町商工会****(1) 事業の目標**

地域の小規模事業者が抱える経営課題を窓口・巡回指導の際に抽出し的確な相談、指導を行う。また各関係支援機関、専門家等と連携を図りその解決に向け支援・指導を的確に細やかな相談支援を行い事業者が持つ課題を解決に導くと共に有効的な情報を提供する。また、地域活性化事業は大阪府の施策を基本として事業所の参加を促し、泉南・阪南・岬・忠岡・熊取町商工会等が広域にて連携を図る事業を積極的に展開し、より多くの参加事業者のビジネスチャンス創出や販路拡大に繋げ曳いては活力のある地域商工業の発展に寄与する事が重要な目的である。

**(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点**

相談支援事業は、事業者の抱える経営課題や問題点等を把握するため窓口・巡回時において事業者とより多く接点を持つよう心掛ける事ができました。。そして指導員間ではカルテ等で情報を共有して事業所の課題を把握してニーズに沿った情報の提供や提案等を図り、経営課題の解決に向けた迅速かつ的確な支援を行う事ができました。そして専門的・高度な課題の解決は関係機関や専門家との連携で問題や課題等の解決に取り組む事ができました。

専門相談支援事業は、税務支援を実施し、年末調整・確定申告時期を重点に税制面へのより高度で複雑な問題の解決をすることができました。

地域活性化事業については、府・各市町・各商工会と連携して、DMや広報等を通じて事業所に周知し、また各事業に沿うように事業所の個別訪問を行い地域活性化事業への参加を促す事ができました。くまもり産業フェアでは7000人を超える来場者で賑わい大阪日技能士会連合会と連携を図り魅力あるイベントとする事ができ事業所が参加する上での支援や方策を伴い考えながら事業の推進を行う事ができました。駅下情報発信事業、Web活用販路開拓事業では事業所訪問の際に新規顧客獲得の第一歩目である事の趣旨等を説明し参加して頂ける企業においては事業所のPRをより一層効果的に出来るよう連携を取り地域や地域以外の方にも情報発信が出来る事を理解して頂き意欲的に参加して頂いた。創業セミナー事業はこれから起業する方が参加して頂き易くするために参加無料で開催させて頂いた。事業所の方々にも一般の方々にも様々な機会を提供することができ地域活性化への一助として機能することができました。

**(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況**

相談支援事業は、事業者と指導員の繋がりを密にする事で目標件数の200件を超える事ができました。経営相談支援の際には様々な情報提供や提案等を行い事業所のニーズを迅速かつ的確に把握する事ができ問題への対応、対策等が速やかに対処でき経営課題の解決に向け効果的な支援ができ事業者の方の商工会への満足度を高める事ができました。専門相談支援事業は、税務相談を実施して年末調整、確定申告相談の専門的な対応と税の正しい認識・申告・納税へ導く事ができました。地域活性化事業は、駅下情報発信事業、Webを活用した事業等様々な販路開拓事業を実施して町内事業所を情報発信の場として貢献でき自社の広報活動やサービス向上等への取組みに推進しできました。これを機に新規顧客獲得や売上の向上・自店のアピール等の効果が出る事で事業主の意識にも変化をもたらすことができたました。くまもり産業フェアでは近隣商工会との広域連携府施策連携のものづくり体験イベントの開催などで成功裡に盛大に開催が出来ました。創業セミナーは参加者数が少ない中年度中に1企業が開業へと導く事ができました。事業所には様々な事業機会を提供することができ地域活性化へ貢献する事が出来た。

**(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題**

平成30年の秋頃から経済状況が厳しくなっているという声が多く聞かれ商工会としても相談支援事業・専門相談支援事業・地域活性化事業を参加活用した事業所は成果や効果を見出すことができ一定の評価を得ることができ現在も連携を密にして支援を継続しているが、まだ活用されていない事業所、イベントなどに参加できなかった事業所も数多くなお一層の会員の方々との連携強化を図り、情報の提供や提案等を積極的に行い浸透を図る。また地域活力の向上に努め、地域経済全体に行き渡る様な事業展開を実施し様々な事業、施策を展開し、より多くの事業所が活用して頂き活性化へと導けるよう今後の商工会の果たす役割は大きいところである。

**(5) 来年度への取り組み**

熊取町商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

地域内の事業所においては取り巻く環境は非常に厳しく様々な支援が求められる。それに対応すべく熊取町商工会では指導員間での情報の共有を行い、各々の事業所に対し指導員と事業所が接する機会を密にし、各々の事業所のニーズに沿うような様々な情報を提供、提案するなどし、事業所が抱える経営課題や諸問題等を把握することにより、その解決に向けた方策等を適切に支援する。また各種関係機関や専門家等への連携を図りより高度な案件にも対応を行いその結果の一つとして29年度から始まった熊取町のマルケイ融資の利子補給制度が徐々に浸透して、平成28年度25件から平成29年度30件、平成30年度は39件と着実に件数が伸びてきおり熊取町と商工会が連携図れば地域の抱えている課題等の解決する事がより一層地域の発展に拍車が掛かる事になる。またワンストップ的な機能を果たすことにより経営の改善等に役立てて頂くこともできた。今後も事業所と商工会が連携を密にして、商工会への信頼性・信用性の強化を図り各種支援やサービス向上に努め、地域商工業の振興、発展に繋げていきたい。

【事例】

事業所は、町内で創業して33年、飲料の他、軽食類などを充実させ食事メニューの提供に重点を置く喫茶店。台風21号の被害により、お店の継続を図るために販路支援・金融支援・被災小規模事業者助成金等の支援を実施。販路支援については、熊取ブランドの里いもコロッケを取り入れた定食の提案や大手チェーン店にはない家庭料理・高齢者向けメニュー等の支援。金融支援では、台風21号による被害（屋根・外壁・カーポート・看板等）に伴う改修工事費用についての支援（損害保険未加入の為、全額自己資金にて対応）。また、大阪産業振興機構の被災小規模事業者支援事業の事業計画作成支援などを実施。マル経融資・被災小規模事業者支援助成金ともに満額決定がおり店舗の継続を図ることが出来た。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	200	204	102.0%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	5	5	100.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	15	3	20.0%	3
金融支援（経営指導型）	支援数	30	39	130.0%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	1	100.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	10	12	120.0%	5
記帳支援	事業所	10	10	100.0%	5
労務支援	支援数	40	49	122.5%	5
人材育成計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	1
マーケティング力向上支援	事業所	1	0	0.0%	1
販路開拓支援	支援数	65	39	60.0%	4
事業計画作成支援	支援数	10	5	50.0%	4
創業支援	事業所	1	0	0.0%	1
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	2	0	0.0%	1
コスト削減計画作成支援	事業所	50	119	238.0%	5
財務分析支援	事業所	10	11	110.0%	5
5S支援	事業所	20	7	35.0%	3
IT化支援	事業所	2	1	50.0%	4
債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	1
事業承継支援	事業所	3	2	66.7%	4
結果報告	事業所	200	204	102.0%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

年末調整・確定申告時期等を重点相談日として税務相談を実施しました。事業者に対して起こった複雑な問題や課題を解決を図るべく専門家を招聘した。その結果事業者の高度な問題や課題に対し的確な指導を行い、その問題等の解決を導くことができました。また相談の際に税制に対する理解を深めて頂くこともでき成果を上げることができました。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談	継続	20	20	20	100.0%	5

## 熊取町商工会

### Ⅲ 地域活性化事業

#### 支援のポイント・成果

駅下情報発信事業は8年を経過し参加企業の満足度も高くディスプレイの方法など事業所の方々が創意工夫をして展示する事ができました。来年度は駅下賑わい館のリニューアルで展示ブースが無くなりますが今後この様な企業のPRが出来る機会を模索していく。Web活用販路開拓事業においては参加事業者数が若干目標件数には届かなかったが指標の事業取組み意欲の増した企業が高い数値を示し継続して情報発信を続けている。この二つの事業に関しては商工会と事業所が一体となり知恵を出し合い如何に事業所を効果的にアピールするかという事でより一層商工会と事業所に有効な関係が築けた。創業セミナーは町行政と一体となり熊取町独自の創業支援メニュー活用の条件として開催しました。受講者の方の中には特定創業支援の認定を受け今年に入り(株)日本政策金融公庫の開業資金を利用して開業に至った。くまとり産業フェアは熊取町農業祭と同時開催をして住民の方々においては商工農が一体となった町的一大イベントとして定着しながらも出展企業に関しては自社のPRに切磋琢磨、工夫を凝らして多くの地域の方々に認知して頂き新規顧客の獲得また企業間の交流など成果のあるイベントとなりました。また大阪府技能士会連合会とに連携を図りより一層盛大に開催する事ができました。

#### (1) 単独事業

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
	駅下情報発信事業	25	25	100.0%	87	自店・商品等のアピール効果があつた事業所数	18	24	133.3%	5
	Web活用販路開拓事業	110	103	93.6%	82	事業所の特色のアピール・認知度の向上が図れた事業所数	80	97	121.3%	5
	創業セミナー	10	7	70.0%	95	創業に向けた知識の理解度	70	95	135.7%	5

#### (2) 広域事業(幹事事業のみ)

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
○	くまとり産業フェア事業	40	41	102.5%	86	自店・商品等のアピール・認知度の向上が図れた事業所数	28	30	107.1%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

熊取町商工会

事業名		駅下情報発信事業							
想定する実施期間		23 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	熊取駅前前施設「にぎわい館」内の商工会展示ブースにおいて、熊取町内の商工業の製品・商品や企業PR・旬の企業情報等を発信する場を提供することにより、町内外の方々に幅広くアピールし、町内商工業の認知度を高めることにより、町内企業との商談・購買等へと促すことにより企業のアピールの一助として活用、情報発信をしていき、ひいては町内商工業の振興・活性化を促していく。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	町内商工事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	JR熊取駅下に熊取町の『駅下にぎわい館』の一角に商工会展示ブースが設置されており、ブース内4小間を無料で展示することが出来、出展者には平成30年4月～平成31年3月までの12ヶ月の期間内に1社2ヶ月の展示を実施し、2ヶ月1回4社(8月～9月実施期間は5社)がPR出来る。募集については、DMや指導員が巡回時に紹介等を行い新たな広報の手法の一つとして活用を促す。自社や自社製品等のPRを行うべく有効活用し、広く住民等へPRしていただき、新たな顧客等の獲得や企業間コラボなどに活用する。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	にぎわい館の広報や町展示ブースの充実を図り、また住民サービスコーナーの充実を図るなど、より町外の方にも見ていただく機会が増え、来店者数を増加することが出来た。								
④相談相乗									
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	25	支援企業数(実績)	25	支援実績率	100.0%	満足度	87
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	アンケート調査の結果、新規顧客獲得や問い合わせ来店者数の増加など、展示を実施した事業所の大半が展示したことにより、店舗のPRに繋がったと回答を得る。また、参加された事業所からは、ディスプレイやPOP等を工夫し、積極的に試みたことにより企業PRが出来き、店舗のプレゼンテーションを考える機会をもてたことや展示物を自店でも活用し、顧客サービスの向上などにも積極的に努められ意識の改善にも繋がった。また、一部の商品ではあるが展示内で商品の販売もしたことにより、売上にも貢献が出来た。							
		指標	自店・商品等のアピール効果があった事業所数						
		数値目標	18	実績数値	24	目標達成度	133.3%		
	成果の代表事例	熊取町の農産物を使った里芋コロッケ(くまコロ)を販売しているお店のPRでは、駅近の立地もあり展示PRする事により、里芋コロッケ(くまコロ)の定食や単品の注文が多くいただけた。駅下の展示ディスプレイを見て来店される方があり新規顧客への来店へのきっかけと繋がった。また、継続的な来店をしていただけるような積極的なPR等を心掛けている。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	駅下にぎわい館は、くまとり観光協会とタイアップし、土日祝関係なく開館しており、来館者数は増加をしている。企業のPRについて来館者数の増加により効果も高まっているが業種によっては、効果の早い・遅いの違いを感じた。また、展示期間を2ヶ月間に延長したことにより、PRに意欲的な企業も多く見受けられた。すべての展示される企業ではないが一部の展示商品に関しては駅下の住民サービスコーナーにて販売し相乗効果図が図れた。展示スペースを活用したい企業も増えつつある。ただ、現在の駅下にぎわい館が平成31年4月より観光案内所としてリニューアルすることにより、企業展示スペースがなくなるに当たり次年度以降は、継続をしていくに当たり新たな継続に向けた情報発信場所を模索し継続を図っていきたい。							

熊取町商工会

事業名		Web活用販路開拓事業								
想定する実施期間		28 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	情報化社会においてスマホの普及に伴い、これまで以上にWebが身近なものとなってきている今、ネットにおける情報収集源が、固定されたパソコンからモバイル(スマートフォンやタブレット)へと変化し始めている。優れた製品や技術・商品を製造、または、サービスを提供している事業者にとっては、販路開拓にWebの活用は欠かせない時代となっている。そこで昨年までのクーポン券付き商業マップ事業をベースにアナログからデジタル化へと移行して販路拡大を図る。今までもこれからも新規顧客の獲得、既存のお客の定着が不可欠であり、Webを活用して効果的な成長を目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	すべての業種においてWebを活用してみたい事業所、活用して新規顧客の獲得を検討している、または、既に取り組んでいるが効果が得られていない等の課題を抱えている事業所。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	名称『熊取うまいガイド』 参加企業へ個別アカウントを発行してクーポンの発行やブログ機能を活用し、キャンペーン告知や新商品PR等の情報を、ご自身で更新していただく。また、Instagram等のSNSも活用し、連携することで幅広いターゲットへPRする。募集につきましては、業種問わず掲載していただけるよう、DMや巡回時に提案を行う。 募集：平成30年5月14日 会議：平成30年9月13日・平成31年1月9日 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
		②広域連携								
	③市町村連携									
	④相談相乗	各事業所のイベント発信や読者目線の世間の話題提供など、様々な情報発信のWebサイトとして利用して頂く事ができた。またパソコンやスマホの利用に関して苦手な事業所の情報発信に関しては、職員対応により情報提供の支援をする事ができた。情報発信力が向上することにより更なる販路開拓に繋がった。								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	110 社	支援企業数(実績)	103 社	支援実績率	93.6%	満足度	82	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	アンケート調査の結果により、多くの事業所から、掲載することによりPRに繋がったとお声をいただいた。中には、問い合わせの増加や新規顧客を獲得できたお声もいただいた。ホームページを持たない事業所からは、新たな販売促進ツールができた満足していただき、SNS等の販売促進ツールを複数持つ事業所には、『熊取うまいガイド』とリンクしていただくことで相互PRを行い、検索エンジンの上位に表示されるように努めている。また、昨年度に引き続き、Webを活用する機会がない事業所や、インターネットで情報を発信することに抵抗のある事業所等へは、使用方法等の個別レクチャーを行うことにより、Webを活用したPRに取り組んでいきたいとご理解いただいた。								
		指標	事業所の特色のアピール・認知度の向上が図れた事業所数							
		数値目標	80 社	実績数値	97 社	目標達成度	121.3%			
	成果の代表事例	チラシやポスターだけでなく名刺等にも『熊取うまいガイド』のページのQRコードを印刷することで、PR媒体の幅が広がる。イベント告知や新メニューのPR、事業に関連する内容をシリーズ形式で掲載されている事業所もあり、消費者へのPR媒体として活用されている。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	掲載される事業所との温度差があり、年度内に掲載に至っていない事業所がある。目標値を達成できるよう積極的な提案や丁寧なフォローに取り組む。 『熊取うまいガイド』においてブログを更新するのに比べ、InstagramやFacebookで更新する方が、ユーザーインターフェースがわかりやすく簡単に更新できる。このような大手SNSを参考にユーザーの意見を取り入れ、スムーズなブログ掲載を可能にするユーザーインターフェースを目指す。 更新数の増加を図るため、昨年度に引き続き、定期的な個別レクチャーを行い、その際に基本的な使用方法はもちろんのこと、応用的な使用方法やWeb上における情報発信のリスク等についても周知説明していく。 Web内アプリゲームや掲載事業所で使用できる商品券の発行を計画し、アクセス数の増加を目指すと同時に、地域住民への定着を図る。								

熊取町商工会

事業名		創業セミナー																							
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	開業率が廃業率を下回っている現状が続いており、企業数は減少し続けている。地域を担う新たな起業家の出現が地域活性化に繋がると考える。創業にあたり、必要な手続きに関する基礎的な知識が不足している方も見受けられる。ついては、スムーズな創業を可能にするため、必要とされる手続きや知識・企業に向けた心構えを身につけていただき具体的なビジネスプランの作成を支援し、事業化を実現させることで、管内の産業活性化を図る。また創業後5年程度の方や不安のある方にも参加頂き、自社の経営を見直す機会としてもらう。																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	熊取町内外で創業を希望される方・創業後5年以内の方																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>★創業セミナー</p> <p>【時期】9月～10月 テーマ毎に分けて4回実施</p> <p>第1回 9月22日 テーマ：経営 講師：司法書士 林正憲</p> <p>第2回 9月29日 テーマ：販路開拓 講師：コンサルタント 北島 大輔</p> <p>第3回 10月13日 テーマ：財務 講師：税理士 廣瀬 正和</p> <p>第4回 10月20日 テーマ：人材育成 講師：日本政策金融公庫 泉佐野支店 吉田課長</p> <p>【場所】商工会館</p> <p>【参加費】無料</p> <p>※創業の心得・開業に伴う手続き・税務関係・公的融資制度の紹介・創業計画書作成のポイント等の内容で実施</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>広報誌や掲示板を利用した広報の協力</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>セミナー受講者に対して、カルテ化までには至っていないが個々の状況にあった指導を行っている。</td> </tr> </table>								①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	広報誌や掲示板を利用した広報の協力	④相談相乗	セミナー受講者に対して、カルテ化までには至っていないが個々の状況にあった指導を行っている。								
	①府施策連携																								
	②広域連携																								
③市町村連携	広報誌や掲示板を利用した広報の協力																								
④相談相乗	セミナー受講者に対して、カルテ化までには至っていないが個々の状況にあった指導を行っている。																								
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	10	支援企業数(実績)	7	支援実績率	70.0%	満足度	95																	
事業の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>予定していた支援企業数には、達しなかったが7名の方に参加していただき一定の目標は達成したと考える。満足度についてもアンケートにもあるように創業に向けた取組について理解をいただきました。創業するにあたり、個別で熊取町で実施している創業支援補助金の説明や特定創業の融資枠拡充の相談も実施致しました。また、セミナー参加者のお一人が特定創業支援の認定を受け、(株)日本政策金融公庫の融資枠組み拡充を受け、運転・設備資金の申込をし創業に至っている。</p> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td colspan="7">創業に向けた知識の理解度</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>70</td> <td>実績数値</td> <td>95</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="3">135.7%</td> </tr> </table>								指標	創業に向けた知識の理解度							数値目標	70	実績数値	95	目標達成度	135.7%		
指標	創業に向けた知識の理解度																								
数値目標	70	実績数値	95	目標達成度	135.7%																				
成果の代表事例	自動車電装業に5年間お勤めされた方が創業セミナーを受講され、特定創業支援の認定を受け、(株)日本政策金融公庫にて開業資金をもとに独立開業をする。																								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	アンケート内容から創業セミナーを開催することにより、以前から独立開業を考えていた方に対して知識を得ていただけたと感じております。また、テーマ別を実施することにより理解を深めていただけたと実感する。次回の取組としては、本セミナーを受講して創業された方の事例なども入れ、一人でも多くの方が創業出来るよう商工会がパイプ役になり個々にあった支援を実施出来るようにしていきたい。また、支援企業数が目標に達しなかった事を反省に入れ、集客に向けた取組にも力を入れる。																							

熊取町商工会

事業名		くまとり産業フェア							
想定する実施期間		25 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	厳しい環境下にある町内商工業を支援し、そして活性化を図るには、企業等による販売促進活動の支援、新たなビジネスチャンスの創出が必要である。本産業フェアを行うことにより、自社単独ではできない環境下での潜在的な顧客の開拓、地元商工業の優れた製品・商品等を消費者へ力強いアピールすべく、展示・即売・商談・販路開拓等の事業機会を提供し、事業所と消費者との交流を深め消費者ニーズの把握や企業間の情報交換・交流等を行う事で自社の強みや弱みに気づく機会となる。また、本産業フェアを実施に当たり熊取町と連携を図り町農業祭を共同開催する。共同開催することにより農業及び商工業の異業種間交流を深めることにより事業所の意識の高揚をはかり、新たな産業交流が生まれ連携による新規事業の創出を見出すことができる。地元産業の認知度向上、販路拡大等の機会を提供し地域産業の振興、活性化を促すことを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南市・阪南市・岬町・忠岡町・熊取町商工会内の事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>くまとり産業フェアと熊取ふれあい農業祭との合同開催                      会議 6/28・9/26・11/20・1/9                      広報 新聞折込15,400部・関係各所へ配布・町広報誌掲載・ホームページへ掲載                      開催日 平成30年12月2日(日)                      開催場所 熊取町立中央小学校グラウンド                      来場者数 約7,000人                      出店事業所数 41店舗</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
		①府施策連携	大阪府人材育成課、大阪府技能士会連合会と連携を図り、各技能士会によるものづくり教室を開催。技能体験により、ものづくりに興味を持って頂くよう促進。						
		②広域連携	熊取・泉南・阪南・岬・忠岡が連携し、出展者や来場者に対し広域でPRを実施。						
	③市町村連携	農業祭との共同開催により、事業の開催を町広報に掲載し幅広くPRを実施。町と連携する事で職員の動員などの協力も得る事が出来た。							
	④相談相乗								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40 社	支援企業数(実績)	41 社	支援実績率	102.5%	満足度	86
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	12月2日開催の第7回熊取ふれあい農業祭と熊取町立中央小学校で今年も同時開催。来場者も延べ7,000人(熊取町のデータより) 町内屈指の大型イベント恒例行事として地域住民には定着。参加企業は41社(熊取29社、忠岡3社、泉南4社、阪南3社、岬2社)となり地域内の特産品・展示即売など、出店にもディスプレイ等創意工夫がみられ、多くの方にアピールすることができた。また、大阪府人材育成課、大阪府技能士会連合会と連携を計る事ができ、より一層の盛り上がりを見せ、参加事業所にも好評であった。							
		指標	自店・商品等のアピール・認知度の向上が図れた事業所数						
		数値目標	28 社	実績数値	32 社	目標達成度	114.3%		
	成果の代表事例	穏やかな天候に恵まれた事で、多くの来場者が来られ、用意した商品が完売された事業所も多く、終始盛大な盛り上がりを見せていた。多くの幅広い世代の来場者が来られたことで、広くPRすることができ、多くの出展事業所に満足して頂いた。また、大阪府技能士会連合会の参加により、例年課題であった子供や若者の来場者が順調に増加している。木工品を販売していた工務店では、商品を購入された方から見積依頼があった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	4,000 人	目標値(実績)	4,166 人	目標達成度	104.2%			
	多くの事業所で、終始行列が絶えることなく盛況であった。比較的に来場者が少ない事業所は、集客力向上に繋がる支援を検討する。								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	昨年度に引き続き、出展者が出展者用駐車場に車を駐車せず、来場者用駐車場に駐車する車が多く、来場者用駐車場が混雑している。出展者資料を配布する際に周知徹底しているが、未だに来場者用駐車場に駐車する車がなくなる。次年度は、近隣施設の駐車スペースを解放できないか調整する予定である。							